

謝辞

われわれの研究活動に対してご支援やご協力をいただいた方々のお名前を関係の深い執筆者が記することで、厚い感謝の意を表します。

日本社会心理学会および関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団、社会安全研究財団には研究の助成を賜り、経費の面だけでなく研究意欲の面でも大きなサポートをいただいた。ブレーン出版の山崎美奈子さんには平成9年に本研究の一部をまとめた書籍（「あのとき避難所は－阪神・淡路大震災のリーダーたち」）の刊行をお引き受けいただいた。関西国際大学の村上敦学長には神戸市教育委員会の協力を取り付けていただいた。神戸市教育委員会事務局の石神晋一さんには、神戸市の小中学校に協力要請の助力をいただいた。大阪女子大学の藤田正先生には常に厳しく温かいご意見とご指導をいただき、研究の指針を示していただいたのみならず、被災者としてのあり方を教えていただいた。みなさまに心から感謝いたします。

（西道 実）

私たちの調査に快く応じて下さった避難所リーダーやボランティアの方々に心からお礼を申し上げます。また避難者生活の一端を語ってくれ、私の被災者への理解不足を補ってくれました母校神戸市立魚崎小学校ならびに中学校の同窓生の皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。

（西川正之）

震災から現在に至るまで、東北という遠隔地にあり、同情はするが関心は持たない人々の中で、常に自分を励ましてくれ、調査の意義も快く理解してくれた両親（2人とも関西出身で、父親は震災直後病気で亡くなりました）と妻に心から感謝したいと思います。

（水田恵三）

（財）東京都精神医学総合研究所の三宅由子先生には、貴重な文献をお借りしました。昭和女子大学文学部心理学科の諸先生方からは、研究に対する助言や援助を賜りました。また、社会心理学研究者の先輩諸氏にも、学会大会時を中心に助言や援助を賜りました。有難うございました。

（清水 裕）

第2章4節での報告は、以下のみなさんのご理解とご協力による調査をもとに書かれました。八尾志紀仮設住宅入居者のみなさん、八尾志紀仮設住宅自治会長（当時）安達佳剛氏、同副会長（当時）森川敦夫氏、ボランティアグループ「ようこそ八尾へ」代表藤原伸男氏、大阪府住宅管理センター中河内住宅管理事務所（当時）東野弘之氏。ありがとうございました。

（田中 優）

調査への参加にあたり、直接・間接のご指導、またご理解を賜りました多くのみなさま方に深く感謝いたします。とりわけ関西大学社会学部高木修先生と同ゼミナール関係者のみなさま方、ならびに同志社大学文学部橋本宰先生をはじめ心理学専攻の諸先生方および大学院生のみなさま方には、厚くお礼申し上げます。また、第2章第2節および第3節の執筆にあたりましては、静岡県立大学短期大学部の諸先生方にもご理解、ご協力を賜りました。加えて、文献収集・引用にあたり山本病院臨床心理室の百々尚美様のご協力も賜りました。みなさま、ありがとうございました。

(福岡 欣治)

調査実施にあたり、以下の方々のご協力や援助を得ました。(株)情報&防災研究所代表高梨成子氏、聖心女子大学学長中川徹子先生、(株)ハイパーリサーチ社代表取締役吉村春彦氏、東京大学文学部池田謙一先生、横浜国立大学経営学部藤森立男先生、昭和女子大学依田明先生、津田善也氏。最後に内輪のことで恐縮ですが、余震の続く中においても調査に参加することを同意され、長く研究を続けてくることができた研究メンバー諸氏、参加に同意していただいたメンバーのご家族のみなさんに心より感謝いたします。みなさんありがとうございました。

(松井 豊)

所属と執筆分担一覧

研究代表者

西道 実 SAIDO Minoru

関西国際大学短期大学部コミュニケーション学科 助教授

(はじめに, 第1章第2節, 第3章第1節)

松井 豊 MATSUI Yutaka

筑波大学心理学系 助教授

(はじめに, 第3章第3節, 終章)

共同研究者

清水 裕 SHIMIZU Yutaka

昭和女子大学文学部 専任講師

(第1章第1節, 第2章第1節・第3節, 第3章第2節)

田中 優 TANAKA Masashi

大妻女子大学人間関係学部 専任講師

(第1章第4節, 第2章第4節)

西川 正之 NISHIKAWA Masayuki

帝塚山大学人文科学部 教授

(要約, 第1章第2節)

福岡 欣治 FUKUOKA Yoshiharu

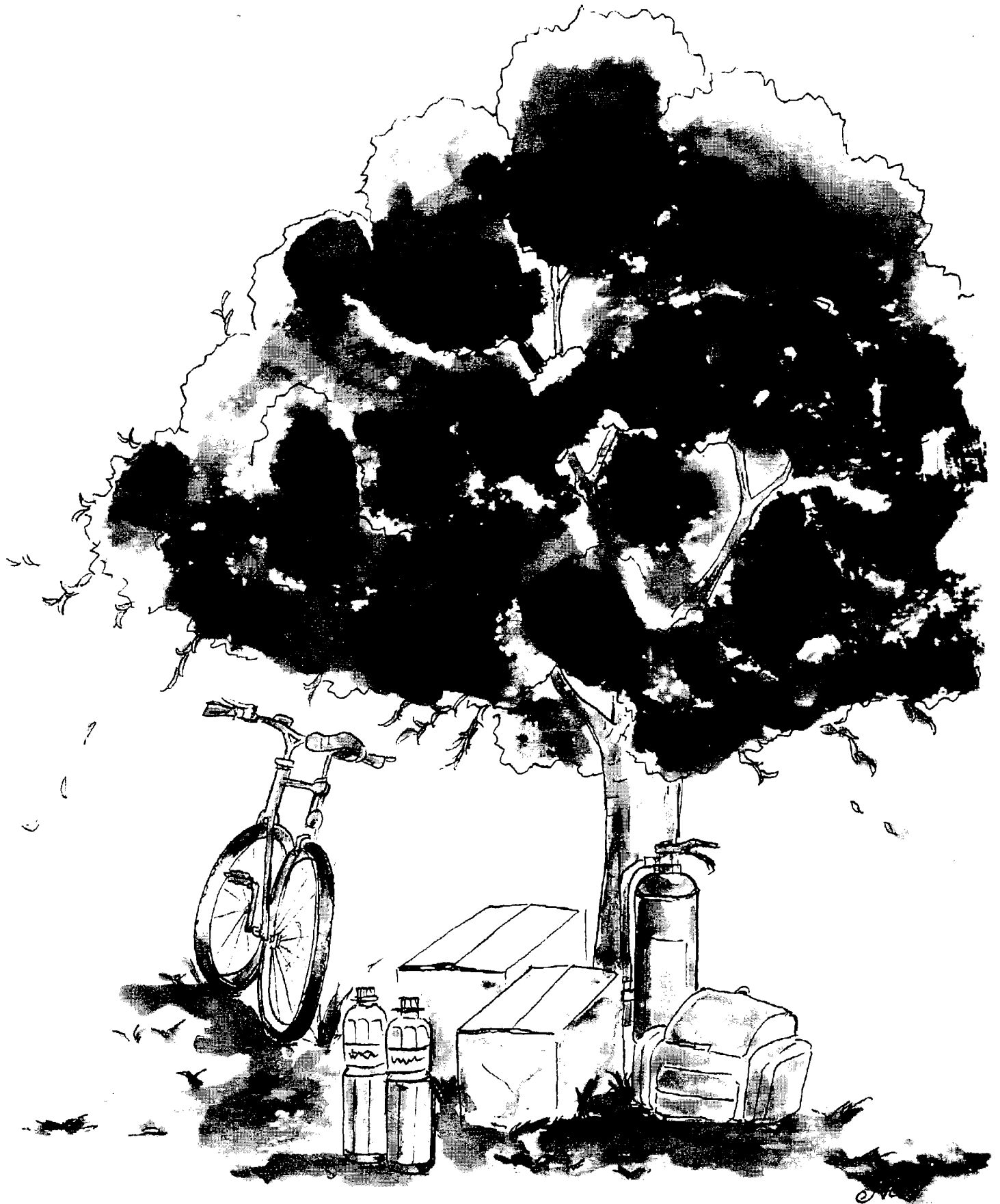
静岡県立大学短期大学部 専任講師

(第2章第2節・第3節)

水田 恵三 MIZUTA Keizo

尚絅女学院短期大学人間関係科 助教授

(序章, 第1章第3節)



大規模災害における避難組織運営に関する総合的研究
A Comprehensive Study of the Management of Emergency
Shelter Systems After a Large Scale Disaster

平成11年 5 月 28 日

研究代表者：西道 実

松井 豊

共同研究者：清水 裕

田中 優

西川正之

福岡欣治

水田恵三

編集：吉田純子

絵：高山直子

災害援助研究会事務局：茨城県つくば市天王台1丁目1-1

筑波大学心理学系松井研究室